

か 考える子
 が がんばる子
 や やさしい心の子
 げ 元気な子



すがわら



令和5年1月
 愛川町立菅原小学校
 発責任者 中村 慎輔
 電話 046-285-2794

卯年は、成長、飛躍の年です。

校長 中村 慎輔

新しい年を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、ご家族とともに、健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年中は、本校教育活動に温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。今学期もどうぞよろしくお願い申し上げます。

17日間の冬休みを終え、いよいよ3学期が始まりました。静かだった校舎は、子どもたちの笑顔と元気な声で活気に溢れています。今学期は、52日間（6年生は50日間）と大変短いですが、一日一日の学習や生活を大切に、充実した3学期にしてほしいと思います。

今年は卯年です。「卯」とは、「おおう」を意味する「冒」と同義で、草木が伸び出て地面を覆うようになった状態を表しています。卯年は、芽を出した植物が成長していき茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて大きく成長する年だといわれています。また、うさぎは跳びはねることから、飛躍するという象徴になります。さらに、たくさんの子を産むことから豊穡、子孫繁栄のシンボルになっています。

菅原小の子どもたちにとっても、成長し、大きく飛躍できるような年になってくれることを願っています。

始業式では、「3学期は、一年間のまとめの学期であるとともに、新しい学年に上がるための準備の学期。そのために、約50日の学校生活の中で、新しい学年に上がるために、今、何をすればいいのか、自分で考えて判断し行動しましょう」と伝えました。

これは、本校のグランドデザインにある「めざす子どもの姿」の1つである「自ら考え、自ら行動できる子ども」からきているものです。

ここには、「子ども自身が自律し、そして、自立できる人間」へと成長してもらいたいという願いが込められています。

自律している人は、自分自身で規範を打ち立て、それにそって行動できる人です。自分の意志をしっかりと持って、自ら定めたルールに従って行動を選択できます。

一方、自立とは、「親などの他の人やものに頼ることなく、独り立ちしていること」を意味します。

子どもたちが大人になったときに、自律し自立できる人間へと成長してもらいたいと誰もが願っていると思います。そして、そのように子どもが成長するためには、「選択する力」が重要になってくると思います。

様々な場面で「自ら選択し、自己決定していくこと」の積み重ねが自立できる人間に成長するために必要なものです。

われわれ大人はよかれと思ってつい、先回りして判断し、子どもに「ああしなさい。」と指示してしまいがちですが、こういう場面ばかりだと子どもの判断力を育てることはできません。

人間が成長していく過程には、必ず乗り越えなければならないハードルがあり、そのハードルを自分で乗り越える力こそが自立することにつながるにもかかわらず、それを大人が先に取り除いてしまっただけでは子どもに力はつきません。「まだ子どもだから」と大人がハードルを取り除き続けて、子どもの判断する力を育てずに、大人になったとたんに「はい、今日からは自分で判断して行動しなさい。」では、自律し自立する大人になることはできません。日常のちょっとした場面、ささいな場面でも「選択し自己決定していく」ことを積み重ねていくことが大切です。

学校では、子ども自身が選択し、自己決定していく場面を捉えて意図的に教育活動に盛り込んでいます。時にはその判断や行動に歯がゆいと思うこともありますが、子ども自身が自分の力で人生のハードルをウサギのように力強く飛び越えられるようになることを信じて、様々な教育活動を行っていきたいと考えております。今年もご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



菅原小学校のめざす子どもの姿 #3

ことばを大切にし、相手の良さを認め合いながら学び続けようとする子ども ～学校という場だからこそ学べることもあります～

これから生きる子どもたちにとって、「コミュニケーション能力」は欠かせません。コミュニケーション能力とは、円滑な人間関係を育み、持続させるための能力のことです。そのためには、ことばを大切に自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを正確に受けとめ理解したり、わかり合おうとする態度や力を身につけることを目指します。自分の思いや考えを相手に分かりやすく伝えられるようになるためには、自分の心や考えを表現できるだけの語彙（言葉）を持っていること、そして、理由とともに筋道立てて説明できるようになることが大切です。これが話す力です。また、相手の話に耳を傾け、理解しようとする力も大切です。これが聞く力です。加えて、自分の考えを表現してもいいんだという「心理的安全性」も大切です。自分の思いや意見を安心して表現できる周囲の共感的な温かい雰囲気や、聞き手にも理解しようという前向きな姿勢も必要です。これらをまとめて菅原小では、これを「**あたたかな聴き方、やさしい話し方**」という言葉で子どもたちに教えています。この能力は、人との関わりの中でしか身につけることはできません。その意味で学校が果たす役割は大きいと考えています。

こういった力を子どもたちに身につけさせるためには、何が必要でしょうか。

自分の思いや考えを言えるようになるためには、子どもが語る機会を作ることです。我々大人は、ともすると先回りして、子どもの気持ちを代弁してしまいがちです。子どもは思いや考えを語るまでに大人よりも当然ですが時間がかかります。黙っていますが、頭や心の中では一所懸命考えているかもしれません。その時間を待ってあげることが大切です。

子どもが言葉の数を増やすには、やはり読書は欠かせません。物語の登場人物がどういう気持ちのときにどういう言葉を使っているのか、子どもは読書を通し、物語の中に入り込むことで少しずつ言葉を獲得していきます。読書は習慣になってしまえば、子どもは自然と本を手にとるようになります。習慣になるまでは、ぜひ意図的に家庭でも本を読む機会を作ってあげてください。

聞く力の育成も大切です。コミュニケーションは自分と相手がいって成り立ちます。自分の思いや考えを一方向的に話すだけでなく、相手の思いや考えをしっかりと正しく受け止めることができはじめてコミュニケーションは成立します。本校では、コミュニケーション能力育成の第一歩として特に「**話を聞く態度**」を身につけさせることに重点を置いています。これらの力を各ご家庭と協力して、子どもたちにつけていってあげたいと思っています。

これからの行事予定について

1月 19日 (木)	3年生 消防署見学
20日 (金)	6年生 思い出遠足
24日 (火)	クラブ
25日 (水)	東中新入生保護者説明会
26日 (木)	新入生保護者説明会 B日課
2月 8日 (水)	授業参観(4・5・6年)・懇談会
13日 (月)	6年生東中新入生オリエンテーション
14日 (火)	クラブ(最終)
16日 (木)	3年生そろばん教室
21日 (火)	授業参観(1・2・3年)・懇談会
27日 (月)	登校班長会議(昼休み)

授業参観・懇談会等について

今年度最後の授業参観・懇談会となります。
お子さんの学校での様子を見るチャンスです。
ぜひ、お越しください。

日時：2月 8日(水) 4・5・6年
2月 21日(火) 1・2・3年
授業参観 13:35～14:20
懇談会 14:40～15:20

※児童1名につき保護者1名の参観となります。

※教室内の密を避けるため、教室に入れる人数は10名までとさせていただきます。10分程度で交代しながら参観をお願いします。体育館については、人数制限はありません。

